科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	精神保健福祉概論 Mental Health and Welfare			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　　船曳　康子		
群	健康・スポーツ科目群	分野(分類)	健康・スポーツ科学(発展)	使用言語	日本語		
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	木1	配当学年	全回生	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

近年、様々な社会場面において、うつ病、不登校、発達障害、ひきこもりなどこころの問題が次々に社会問題として取り上げられ、メンタルヘルスの重要性が指摘されている。
それらの課題を解決していくには、社会的なニーズに見合った制度設計が必要となる。
本授業においては、こころの健康を維持するための基本知識と、時々刻々と更新されていく社会的取り組みや制度について背景から解説する。これらを通して、自身や周囲のメンタルヘルスの維持に加え、学校や職場や家族という単位でも役立つ知識の提供と、当該分野における意識を深めることを目的とする。

[到達目標]

実社会におけるこころの分野の施策は、現状を踏まえながら、時々刻々と更新されていく。その実情についていきながら、今後の方向性について考える土台を作ることを目標とする。

[授業計画と内容]

以下の内容についてそれぞれ1～2週に分けて、授業を行う。
リアルタイムな話題が生じた際には、そのテーマについて取り上げる。

1.授業の概要説明と精神保健福祉とは
2.メンタルヘルスに関わる職種の説明
3.保健医療分野に関係する制度
4.神経発達症者に対する取り組み：発達障害者支援法とこれから
5.ひきこもり対策・依存対策
6.児童虐待対策/育児不安
7.教育分野に関係する制度、いじめ対策
8.産業・労働分野における制度
9.支援者のメンタルヘルス
10.司法・犯罪分野に関する制度
11.福祉分野に関係する制度
12.地域生活支援（支援機関、自助活動、人権擁護）
13.小テスト
14.まとめ

フィードバック方法は別途連絡する。

[履修要件]

健康心理学Iを習得していることが望ましい（必須ではない）

精神保健福祉概論(2)へ続く↓↓↓

精神保健福祉概論(2)

[成績評価の方法・観点]

授業内容に沿った小テストにより評価

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
精神保健福祉白書編集委員会 『精神保健福祉白書』（中央法規）

[授業外学修（予習・復習）等]

関連する参考書を読む、時事問題に目を通すなど

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]